

1. 私たちの責任

「学ぶこと」ともかぶりますが……

理性を高めるための学びがありますね。

「科学を学ぶ」という行為が、生理現象と同じなら、理性を持ってこらえ止める必要も無い。私達の生活の自分が決める。この事の堂下り前の話です。 全くその通りです！

核兵器によって傷つけられるのは人間だけでは

全ての人が責任を持つ責任は負えないと責められる

なく、美しい自然と生物、海やこの地球があります。わたしたちは人類のみならず、地球を守るという義務があります。今、若い人たちが

ええ、ぜひ、私たち自身がしっかりして、いい世界を作っていきましょう！

きちんと力を制御できるための知恵と教養を持つべきですね。

2. 抑止論・湯川

正確かに核兵器は危険であり悲劇を生み出します。しかし僅は現実問題として核兵器の完全撤廃は不可能だと考えます。

一度全ての核爆弾が爆発しない限り、核撤廃は不可能ではないか。なのでそのような日外来ないために、核はどうかあぐま

湯川氏の依拠した内容は、~~科学的~~ ^{リベラル的} 湯川

抑止力としてだけで留めてほしいと願っている。もちろん核撤廃が実現すれば一番なのだから。

核保有国が核を撤廃する事は出来ない。という事は、不可能だと思っている。

抑止論は強力です。湯川は、水平の拡散（核保有国が増える）、垂直の拡散（核兵器が高性能化する）を指摘しましたが、もう一つ、侮れないフィードバックがあります。それは、「核の撤廃は不可能だ」と人々が思うことによって、ますます、抑止論が正当化されてしまうことです。抑止論が正しいという人がいると、ますます、「撤廃は不可能だ」と人々が思うようになります。湯川も、もちろん、そのことに気づいています。実は、ビデオの中で、それに反論していたことに気づいたのでしょうか。「核兵器は人類と共存できない」つまり、共に世の中に存在し続けることができないので、核兵器が残るなら、人類は滅びると指摘しています。その上で、「核兵器全廃の方法が必ずあるはずだし、必ずそうあらねばなりません。なぜならこれは人類が生き残るために…(中略)…すべての人の悲願であるからです。」と述べ、人類は生き残るよね、だったら方法もあるよね、という奇妙なロジックで核の全廃はできるはずだ、としています。

ノーベル平和賞を受賞した ICAN は、核の抑止論に対して、核を保有すること自身が罪だと国際的に認めることで核を全廃しようという作戦をとりました。核兵器禁止条約は、2017年に国連で、122の国と地域が賛成し、採択されました。

「一日生きることは一歩進むこと」と手帳に書いていたが、今は一日一歩も進めぬのが悔しい。何よりも一日も歩むのが良し。一日を生き、もう一歩も進めぬのが悔しい。悔しい。

以前もお話したように、他の人の人生は、私たちがどう生きるかを考えるときのいい材料になります。

- 期末試験： 2019年1月21日(月) 持込不可、学生証持参
- 第15講： 2019年1月28日(月)
- e-Campus へ提出する課題(締切り:1月29日 21時)

どちらもこれまできちんとやってきた人は提出する必要はありません！

- 1) 永久機関についての課題(プラス点)
- 2) 科学のABCについての課題(未提出の人、うまくABCになっていなかった人)

3. 学ぶこと 毎年、この回の授業を行うと、いつかお話ししたカツオ君のように未来は明るいと思います。ぜひ、皆さんと一緒にこれからも勉強して、正しい判断をできるようにしていきましょう！

今の現状を
為りかたは見えられぬ。学んでこ
核の抑止力である。我々は学んで、震
水とウしてし、成らぬ。成らぬは
なるは、我々へし行われはなるは。

私は興味のあるしかしかり学んでいながら、今日の授業で興
味が無くても学ばなければいけないと知らなければいけないとかがあ
と学んだ。何か選択する時に知識があれは良い選択ができるかと
わん。次から選挙に参加できるのしかり政治は勉強しなさいとい
たいと思つた。

多様な知識を持ち、多面的に思考する
人間が増える為にも、現時点の自分の考え
を述べては「バラバラ」なものを
考へる。私たちの自由は、私たちの
責任の上に成り立っているというの
がL Aの基本認識ですね！

過去から学び、しっかりと知識を身に付け自分の考え
意見を持たないです。

原爆の惨状を知らず原爆の議論をいふという事は、あの涙の
通イジと思つた。

人の道徳についても意見するにしても、理解がなければ何も力を持たないはずである。
その上をわらわら、どなたか研究して

学問を制限すれば議論がでる事も無い。しかし私はその方が絶対
にあってはならないと思う。その上を法律で全て決める世界は自由はない。だから
私はその世界にしない。それに、嫌いなことを勉強し、適切な選択を
できるようにしてあげてほしい。

アインシュタインにも当てはまる
というのはいいい指
摘です！

ビデオの中で最初のところアインシュタインが日本人に申し訳しづかいに
することがあります。それはも科学の博士が知らなかった原因ですね。

日本人だけでなく外国の人達も今以上に知識の考えがなつてはならない
と思います。広島、長崎の動画を見たら心切く思つた。

Aの発言が世界の中にな、いくと大事でか。しかしその方が嫌な言
情もいかにせよ、人に知れぬにこの原爆大事かかと思つた。

いじめや、相手の心
情も理解しなければなら
ない、という指摘も
いい指摘だと思います。
それは、必ずしも目
の前の人とは限らず、
会ったことも無い人の
ことも考えるべきかも
しれません。

京都シンポジウムでの各国の科学者は、原爆が投下されたときの惨状を
知らなかった。いじめた側がいじめられた側の気持ちも知らないのでよく
似ている。孔子の言う通り、勉強しないで考えるのは危険だ。

実際に、原爆直後の映像を見た時、ショックを受けた科学者が
多くいたと言っていました。それは、この状況にだけ言えることではなく、

きれている相手側の様子も心情を考えなければ、正しい行動は取れない
という教えます。これは今後の私達も意識すべきことですね。

この指摘も重要ですね。精神
を錯乱させてしまうようなこと
になってはいけません！

ただ勉強するのは大切として、私は知らなくてもいいことや目を背けてもいいこと
もあると考えます。

ただ、逆説的に言えば、私た
ちは人を錯乱させてしまうよう
な世界に生きている（そういう
世界に私たちがしている）とい
う意識も必要です。ナチスドイ
ツのドイツ人たちの「私たちは
知らなかった」を繰り返しては
いけないことも付け加えておき
ます。

もちろん科学者が研究する際の良識に関しては勉強しなはならない
その事柄の悪い部分は目を背けてもいいことかと思つた。

しかし知ることは恐怖もあると思つた。「知らぬが仏」という言葉もあるように、例えば
原爆の具体的な惨状や原爆が身体に及ぼす影響を知らぬことは恐怖し精神状態
に異常をきたす可能性、その事柄がなくても不安を感じることもあると思つた。